

祝

令和7年度
佐賀県立唐津工業高校入学式

令和7年4月9日(水)



まつなみ

〈編集/発行〉
唐津工業高校
PTA広報部新年度のご挨拶
PTA会長 川上 翔

新 入生を迎えた入学式から早いもので半年になるとう
じています。3年生にとっては最後の高校総体も終
わり、3年生には就職、進学とたいへん大事な時期に入ろ
うとしています。

会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこと
お喜び申し上げます。

本年度、唐津工業高等学校PTA会長を務めさせてお
ります川上翔と申します。昨年度までは、副会長として
本校のPTA活動に携わっておりました。私自身、会長と
いう大役は久しぶりとなります。何かと至らない点も多々
あるかと思いますが、精一杯務めさせていただきますので、
一年間よろしくお願ひします。

会員の皆さまにおかれましては、平素より本校PTA活
動に対し、ご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。
5月のPTA総会では、多くの会員の皆さまに出席いた
さ誠にありがとうございました。より多くの皆さまに、
学校への関心を持っていただくことは大切であります。近
年は本校をはじめ、県内の各高等学校の入学生も減り、
結果として全体の生徒数も減少しています。しかしなが
ら、その様な状況だからこそ、今まで以上の協力関係が
必要ではないかと私は考えます。

本校は工業高校という特性から、子供たちは日々、専門
分野を学び、技術を磨き、そして、時には互いに取得した
技術を友達と競い合いながら、将来の進路に向け努力を
日々重ねています。私たち保護者は、その様な子供たちの
成長を温かく見守り、全力でサポートしていくことが大切
だと考えます。今後、PTA活動を通じて色々な知恵を
出し合い、学校と保護者が連携し、子供たちがより良い学
校生活を送れるように、活動していきたいと考えていま
す。そのためには、会員の皆さまのご理解とご協力が不
可欠です。ぜひとも、PTA活動にご理解をいただき、また
積極的にご参加いただき、共に、子供たちの成長を支えて
いただきますようお願い致します。私も、唐津工業高等
高校の校訓である「起て・察よ・邁け」を念頭に置いて、
より良いPTA活動が出来るよう活動していきたいと考え
ています。

どうぞ、一年間よろしくお願ひいたします。

「一生懸命さ」を
応援！
校長 神近 正

頃より本校の教育活動に理解と協力を
賜り、誠にありがとうございました。

今年も夏の風物詩ともいえる夏の甲子園大
会が沖縄尚学高校の全国制覇で閉幕しまし
た。沖縄県勢13年ぶりの快挙は九州は二つ
という云々意味でも感動と喜びが増した瞬間
でした。その間、勝つて喜ぶ姿、負けて涙する
姿、その一つひとつに私の心は動かされてま
した。

高校野球の最大の魅力は、何と言っても生
徒達の「一生懸命さ」ではないでしょうか。
泥だらけになりながら打球を追う姿、全力疾
走でベースを駆け抜ける姿、試合が終わった
後に相手校に深く一礼する姿、どれも清々
しく、真実に何かに向き合うことの尊さを教
えてくれているように思います。これは高校
野球に限らず、他の部活動や教育活動におい
ても競技力や技術・技能向上の場であると同
時に、人としての成長の場でもあります。応
援する仲間の声に支えられ、ミスをした選手
に手を差し伸べ、最後まで諦めずに取り組む
姿勢は技術だけでなく、協力することの大切
さや、相手を思いやる心も育まれる場でな
くはないと思います。

二学期はクラスメイトや全校生徒が力を合
わせて取り組まなければならない唐工祭があ
ります。協調性・協働性を必要とする行事に
「クラスのために、チームのために何ができ
るか」として「自分自身の行動に責任を持つこと」
を一生懸命実践してくれることを願ひ、これ
からも生徒の支援を行っていきます。

今後ともPTAの皆様の協力を頂きながら、
私たち教職員は、生徒達が唐津の地域に根差
し、これからの時代に必要とされる広い視野
を持った生徒の育成に尽力して参ります。
今後ともどうぞよろしくお願ひします。

第69回 九州地区高等学校PTA連合会大会 沖縄大会

『語やびら』かたろう ～未来を担う子ども達のために～

6月19日(木)～20日(金) 沖縄コンベンションセンター 参加者：磯口、蒲原、山口教頭

記念講演 上間 陽子 (琉球大学教授)

「沖縄の貧困とトラウマ」
～10代のママたちの施設おにわの事例から～

上間教授は主に非行少年少女の問題を研究されている方で、著書「裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち」(太田出版)については、星野源さんが多大な影響を受けたと語ったことでも有名になりました。

今回の講演でも、10代の少女たちを支援する中で気づいたことや訴えたいことを穏やかな口調ながら熱く語られ、教育の役割について深く考えさせられる機会となりました。

第1分科会 青少年の健全育成とPTA活動

普通校2校と商業校、工業校各1校からの活動事例紹介の後、意見交換が行われました。各々専攻は違えど、それぞれのPTAで生徒・学校・地域の実情に合わせて、工夫を凝らした活動が行われていました。

特に厳木高校の「厳木駅から始まるまちづくり」については、今後の参考にしたいと考えます。

第2分科会 進路指導とPTA活動

AIやロボテックの発達等による社会の変化とともに、産業構造や職業等も変わっていき、それに伴い学校教育も大きく姿を変えています。

各校ともにPTA活動と進路指導に対してICT(情報処理・通信技術)の活用が行われていました。

本校でも、ICT活用として、はなまる連絡帳での生徒と保護者への行事連絡やアンケート調査、学校出欠連絡等と今の時代に慣れていかないと感じています。

教育視察 世界文化遺産 斎場御嶽

斎場御嶽(せーふあーうたき)は、琉球の創世神「アマミキヨ(アマミク)」が創った御嶽のひとつとされています。琉球王国時代には国王が巡幸し、また最高位の女神官である聞得大君(きこえおおきみ)の就任儀礼「御新下り(おあらおり)」が行われたことから、「最高の聖地」として多くの人に崇められてきました。

第3分科会 地域の将来を担う生徒の支援活動

沖縄県西原町では主に創作演劇や国際交流、商品開発等を通し、高校生を中心としたプロジェクト活動をする団体を地域で育て町を元気にするために共に課題を解決していく取組みが行われています。

令和5年度には全国高校生SBP交流フェアにおいて文部科学大臣賞を受賞したほど活動が盛んです。

そこで育まれてきた実力を開始早々に見せつけられ、会場全体が一気に惹きつけられた空気感は圧巻でした。

担当する笹倉さんは、どのようなことを指導されるのかと質問されると「信じて見守る。我慢する。地域の方たちからお叱りを受けることがあっても見守り我慢する。」と我慢という言葉を何度も言われていました。

自分も子育てをしていて、何かと経験から口や手を出しがちです。子どもたちが解決策を見つけ出すまで見守るのは簡単なようで難しいことだと思います。

町全体で人材を育成し、町の未来を創られている示唆に富んだ話でした。



PTA総会参加の御礼

5月10日(土)、令和7年度PTA総会を開催しました。今年度も292名(欠席者会出席48名を含む)と多くの保護者の方々に参加いただき、誠にありがとうございました。

学校長から今年度の学校の方針や取り組み、教育目標などの説明がありました。また、議事では、決算報告、予算案などが発議され、監査報告ののち、意見や質疑もなくスムーズに承認されました。

その後、令和7年度PTA新役員の紹介と旧役員への感謝状贈呈を行いました。

今後、保護者と学校としてPTAが連携し、子どもたちの成長を支援するために、様々な取り組みを行って参ります。

また、総会に先立って授業参観が行われ、多くの保護者の方々が授業を参観されました。日頃の生徒達の授業の様子、学校生活の様子などを見て頂く貴重な機会となりました。

＜その他上期の主な活動実績＞

新旧代議員会

4月25日(金) 日浦屋

出席者：川上会長他 計23名

佐賀県高等学校PTA連合会総会

6月6日(金) グランデはがくれ

出席者：川上会長

唐松地区高等学校PTA連合会総会

6月6日(金) 唐津商業高校

出席者：神近校長、石橋副会長他 計11名

佐賀県産業教育振興会役員総会

6月19日(木) 佐嘉神社記念館

出席者：神近校長、川上会長

役員紹介

◆令和7年度 役員一覧◆

会 長	川上 殉	監 事	坂本 晃子	中山 紘子
副会長	磯口 恵		田島 栄子	蒲原 周子
	古賀 文子		岩野美奈江	井手 裕美
	石橋 正光		辻 清美	
顧 問	青木 一里			



子どもたちのために微力ではありますが諸先輩方を見習って頑張ります！
宜しくお願い致します。

古賀さん

中山さん

子どもたちが充実した学校生活を送れるようお手伝い頑張ります！

新役員の抱負

子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう、また、私自身もPTA活動を楽しく送れるよう頑張ります。

蒲原さん

皆さんと共に楽しみながら、PTA役員をさせて頂きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

井手さん



第74回 全国高等学校PTA連合会大会三重大会

出会いはじまる常若のくに ～「集い、想い、継なく」三つの重なる明日への力～

8月21日(木)～22日(金) 日硝ハイウエーアリーナ他 参加者：川上、井手、神近校長



表彰状を手にする川上会長と神近校長

令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰を授賞しました。

文部科学省ではPTAの健全な育成と発展に資することを目的に、優秀な活動実績を挙げているPTAを表彰しています。この度、本校PTAが、令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰(高等学校・中等教育学校PTA)を授賞しました。表彰式は、令和7年8月21日(木)に開催された第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会で執り行われました。なお、評価された主な活動内容は以下のとおりです。

- ・学校行事や部活動における生徒の活躍やPTA活動取材し、広報誌「まつなみ」(唐津工業高等学校PTA作成の広報媒体)に掲載
- ・学校行事でのカレーライスや肉うどん、ぼたもち等の調理・提供・販売
- ・進路講演会や企業訪問研修会の企画・運営
- ・生徒が地域からの依頼を受けて、木造ベンチ制作や看板補修等をする際の材料費等の支援

記念講演

中島 伸子
井村屋(株) 代表取締役会長

尊厳は明日の力 ～壁を開ける手中の鍵～

中島さんは大学生の時に大事故(北陸トンネル事故)に巻き込まれ、九死に一生を得たものの、教師になるという夢を断念せざるを得なかった時、お父さんからもらった手紙には「君だけのプラス1(イチ)を探して生きて行ってほしい。辛いという字に一を足すと幸せになる」と書いてあり、それから毎日感謝の一言を日記に書いてなんとか前を向いて生きてこられたそうです。

アルバイトとして井村屋に入社され3人のお子さんを育てながら、長い間仕事と家庭を両立してきた経験談など経験に裏付けされた言葉の重みに感銘を受けました。

教育視察

伊勢神宮、ミキモト真珠島

伊勢神宮(内宮)とミキモト真珠島にて海女さんの実演を生で拝見させて頂きました。

伊勢神宮においては古くからの習わしとして外宮先祭といい、外宮を先に参拝することが推奨されているようです。今回は是非、外宮よりリベンジし、ご朱印帳持参で参り、ゆっくりと散策しようと思います。海女さんの実演も大変興味深いものでした。約二千年の歴史を持つ伝統的な素潜りだそうです。

第1分科会

子育て、そして親育ち

～言葉の力を磨き、子どもの心の声を聞こう～

第1講演では、NPO 活動での、さまざまな行政との協働事業や行政関係者・NPO・地域で暮らす人々と子どもを主体者にした取組みが紹介されました。次に第2講演では、アメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励である、ペップトークの重要性や実効性について熱く語られました。

2つの講演を聞いて、保護者や教員の立場など、それぞれの立場から「今日から実践できる」子育て・親育ちのヒントをいただきました。

第3分科会

AI 時代における Well-Being な
キャリアデザイン

～青春期における感情・感動体験の重要性～

アソビジョン(株)の國友尚氏による講演に続き、(株)三越伊勢丹の北川竜也氏、KCJ GROUP(株)宮本美佐氏を交えてのパネルディスカッションが行われました。

VUCA と呼ばれる変化が激しく不確実性が増す時代背景のもと、進路やキャリアにおいても正解が見えない時代にあって、感動体験が自分のキャリアにつながり、それぞれの Well-Being を創り上げていくのだとイメージさせてくれました。

第4分科会

Let's PTA !

～これからの PTA 活動を考える～

第4分科会ではラジオ DJ レモンさん(山本シュウさん)による講演でした。

「We are シンセキ～!!」から始まったテンションバリバリ高めめの登場でした。皆会場笑顔で笑い声があふれていました。「元気」と「パワー」をたくさんいただきました。「おせっかいおばちゃん、一秒でもハッピーに!! 楽しい PTA を作ればいい」って、レモンさんは伝えてくださいました。

編集後記

令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰を授賞し、役員一同、今後に向けて改めて引き締めるところです。

ご一読いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

広報担当・役員一同

下期の主な
PTAの
活動予定

12月

12日(金) 全校マラソン大会(うどん提供)

2月

10日(火) 卒業生激励会(ぼた餅提供)

27日(金) 卒業式